

平成15年度都市公園事業継続箇所 再評価結果

公園名	国営明石海峡公園	種別	イ号国営公園	事業主体	国土交通省近畿地方整備局
所在地	兵庫県神戸市 津名郡淡路町、 東浦町	事業面積	【淡路地区】96.1ha 【神戸地区】233.9ha	採択年度	平成5年度
都市計画決定年度	【淡路地区】平成6年度 【神戸地区】平成8年度	都市計画変更年度			

事業概要

国営明石海峡公園は、近年の余暇時間の増加に伴う、主として近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対応するため設置する大規模公園であり、併せて明石海峡大橋を中心とした明石海峡周辺地域の広域レクリエーションゾーンの形成に寄与するもので、近畿地方2番目のイ号国営公園である。本公園は、明石海峡大橋を挟んだ淡路地区と神戸地区の2地区で構成し、それぞれの自然環境やレクリエーション資源等を生かして多様な施設を整備する。

全体事業費	1,100億円	投資事業費	650億円	進捗率	59.1%
用地確保面積	【淡路地区】59.1ha 【神戸地区】232.5ha	既供用区域	【淡路地区】36.3ha 【神戸地区】0ha	【淡路地区】平成13年度 【神戸地区】未供用	

事業の進捗状況	未供用の場合、その理由
	淡路地区においては、平成12年に700万人が来場した淡路花博が開催された。震災復興予算を用いてこの花博に合わせた整備を行う必要があり、かつ花博終了後は早期に供用を開始すべきとの判断から、淡路地区の整備を優先してきたところである。一方神戸地区は、土地の改変を抑えるため工事用道路も園路計画に従って整備する必要があり、全面的な用地買収に取り組んできた。神戸地区については全面積の99%が取得済であり、今後整備を進め早期開園を目指す。

事業の進捗の見込み

今後の事業の進捗予定、目処及び進捗の見直し
 淡路地区は平成14年3月に第1期開園(30.1ha)を迎え、平成15年4月に第2期開園(6.2ha)し、現在36.3haを供用している。今後は開園区域内の充実を図るとともに、平成16年度の追加供用に向けての整備を行う。神戸地区は今後も市民参加型のイベント等を実施しつつ、平成20年頃の一部開園を目指して整備を進める。

対応方針 継続

公園平面図

〔神戸地区〕



〔淡路地区〕

